

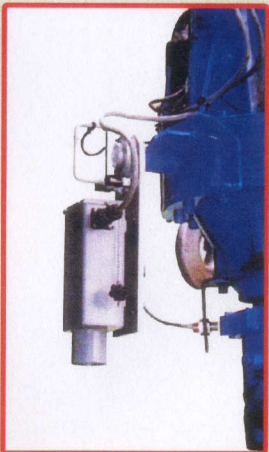
建柱車用施工管理装置 NSC-25(S) Re 型

取付部材表

本機は、土木基礎工事の地盤改良、鋼管杭打設に伴う施工時の各データをメモリーカードに保存することが可能です。メモリーカードから事務所のパソコンで内容の確認ができます。パソコンでは杭番号によるデータ一覧表、掘削深度設定ごとの区間データ、時間ごとの区間データ、グラフによるトレンド、必要なグラフトレンド、又は、デジタルデータ印刷が可能です。小型で操作も簡単、機能も豊富ですのでワイドに対応できます。

深度センサー

レーザーセンサーで
(検出距離約40m)
正確に距離を計測します。
掘削深度 [0-99.99m]
掘削速度 [0 ~ 9.99m/min]



回転数センサー

センサーで
回転数 [0 ~ 199min⁻¹]
積算回転数 [0 ~ 9999Rev]
を測定します。

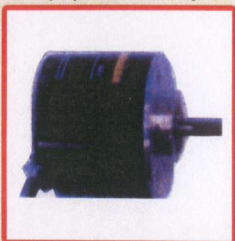
エンコーダー

機械のタイプによって深度計測装置が変わります。

リニアエンコーダー



掘削深度用
ロータリーエンコーダー



ケーブル巻取りドラム

ブームにあわせてケーブルを
伸縮させます



プリンター

リアルタイムで施工状況
をプリントアウト!

メモリーカードCF

(CF=コンパクトフラッシュ)

専用ソフトを使えば、ひと
めでわかる報告書を作
れます。
32MB (約500本分メモリー)



制御部
(記録用
プリンター付)

通信ケーブル

操作部



モニター盤

杭 No. =0 ~ 999 で設定
継杭機能付
・掘削深度・掘削速度
・流量・回転トルク
・回転数・積算流量
についてモニター可能
目標深度/回転トルクで
のお知らせ機能付

トルクセンサー

センサーで圧力を測定
トルク値 (kN/m) を算出
※機械の能力により設定が必要



圧力センサー

データ取得から 報告書作成までの流れ

事務所での作業

①PC上でカードのフォーマット

現場での作業

②カードを持って現場へ
③施工データをとる
その場でプリントアウトも可能

事務所での作業

④カードを持って事務所へ
⑤施工データ処理 (プリントアウト)
⑥カード内のデータを削除

建柱車以外にもリーダー用もごさいます。 型番 NSC-25(S)

- ・オーガーがチェーン駆動方式の場合は、エンコーダーの使用が可能です。
- ・チェーン以外の駆動方式は、自動巻き取り長さ検出器を使用します。

※“掘削深度、掘削速度”は、これらのパルス信号を計算して表示・記録します。

